

第 3 号議案 2024 年度事業計画案及び予算案に関する件

4 年目となる「ちばし地域づくり大学校」企画運営事業は、受講者（90 人）確保を課題と捉え、カリキュラムの改善や広報活動を充実します。これまで開設から 13 年間受託実施してきた四街道市地域づくりコーディネーター業務は今年度 1 年契約、「市民参加と協働」を基本とした業務の成果を可視化することも重要なことと考えています。また、八街市協働のまちづくりコーディネーター育成事業はメンバーの市民性、当事者性を活かし、スキルアップできるよう伴走支援を行います。

1. 組織の運営

- ・ 賛同会員の拡大は相談、講座参加など関わりを持つ機会を捉えて加入をすすめます。
- ・ 理事会は、年 5 回、基本はオンライン開催とします。
 - 第 1 回：7 月 26 日（金）・年間事業計画の具体的な進め方について
 - 第 2 回：9 月 19 日（木）・中間報告と下期の進め方について
 - 第 3 回：12 月 26 日（木）・年度末までの計画について
 - 第 4 回：3 月 27 日（木）・今年度報告、次年度計画について
 - 第 5 回：5 月 15 日（木）・第 25 回総会議案について
- ・ 事務局運営は、各事業を複数で担当し、事務局会議を開催（月 2 回）、事業の進捗確認や課題共有をします。また、4 月に新スタッフを迎え、世代交代をすすめるための環境整備や内部研修を実施します。
- ・ 新就業規則に則り、さらに継続して働きやすい環境をつくり、リスクマネジメントにも対応できるようにします。

2. 相談事業・NPO の支援事業

① 相談事業

- ・ 団体運営に関わる相談は電話、メール、面談等で常時対応し、内容によっては専門家（税理士、社会保険労務士、弁護士）の協力を得て最適な対応とします。
- ・ NPO の事務力（会計処理、労務管理、法務局・所轄庁手続き等）を支援できるように、事務局全体で共有し専門性を高めます。
- ・ 行政が掲げる市民協働、市民活動推進に関わる研修やセミナー企画等の相談に対応します。
- ・ ちばソーシャルビジネス支援ネットワークに参画し、公益財団法人ちばの WA 地域づくり基金、日本政策金融公庫、中央労働金庫、千葉信用金庫、銚子信用金庫、東京ベイ信用金庫と協力し、NPO の資金調達（寄付募集、助成金、融資）、設立等の相談に対応します。「ソーシャルビジネス相談会」の開催に協力します。
- ・ ちばし地域づくり大学校修了者に ML で呼びかけ、運営課題へのフォローアップにつなげます。

② 講座事業

- ・ 令和 6 年度地域人材育成事業「ちばし地域づくり大学校」（千葉市高齢福祉課主催）を受託、地域福祉活動の担い手を育成する基礎コース（20 名×2 クラス）、入門コース（30 名×1 クラス）、ステップアップコース（20 名×1 クラス）を企画運営します。受講者募集を確実に進めます。修了者フォローアップのひとつとして情報交流や助成金等の情報提供をメーリングリスト活用して実施します。
- ・ 「千葉県市民活動団体マネジメント事業」に企画提案、NPO や法人の事務力を高め、社会的な信用度を向上させるため適正な運営をする団体を増やします。また、講座終了後に個別相談を受けサポートします。多くの団体が受講できるよう後日視聴を可能とします。

③ 講師派遣

- ・ 各市が開催する市民活動参加を促すための「市民活動セミナー」に講師を派遣します。
- ・ NPO のマネジメント（資金調達、広報、人材募集）に関する講師を派遣します。

3. 被災地・被災者支援事業

① 福島県避難者支援、相談事業

- ・ 「福島県県外避難者への相談・交流・説明会」事業を継続し、福島県から千葉県内に避難している方（1,395 名）へ情報提供、相談対応を行います。また、福島県担当課と県内市町の担当課を訪問し避難者支援情報を伝えます。アンケートで得られた情報をもとに戸別訪問をすること、地域で小さな交流会を各地で開催し孤立を防ぎます。県内の支援活動団体間（6 団体）でイベント、サロン開催等の支援情報や避難者の状況について情報交換し、支援力を高めます。県内の避難者に配布する情報紙「縁 joy」を隔月（No.96～No.100）各 2,000 部発行、当事者に届けます。
- ・ 交流イベント『縁 joy 交流会』を県内支援団体と協力して、きぼーるアトリウムで 10/3～10/5 に開催します。
- ・ 福島県避難者住宅確保・移転サポート事業は、自主避難者家賃補助終了に伴う住宅に関する相談を受け、福島県担当者や福島県復興支援員と連携して取組みます。

② 災害支援ネットワークちば（CVOAD）について

今後はネットワークの参加団体になり、千葉県内の中間支援組織や社会福祉協議会、自治体など多様な主体とともに、平時からのつながりをつくり、災害時には中間支援団体としての役割を担うことをめざします。

4. 地域づくりのコーディネート事業

① 四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業

今年度はコーディネーター 3 名、サポートスタッフ 2 名、相談担当スタッフ 1 名の体制で市みんなまで課と協働して取組みます。コーディネーター会議を毎月 2 回開催し、事業の企画・進捗管理・課題の共有をもとに日常業務をすすめます。

- ・ 地域づくりに関する相談に常時対応し、登録団体や市各担当課、関係機関とつなぎ、課題解決をはかります。
- ・ みんなで地域づくりセミナーを団体の基盤強化、新たに始める市民・団体へのきっかけづくりを目的とし、コラボ四街道への申請支援や採択後のサポートを実施します。
（みんなで地域づくりセミナー 6/14 広報「チラシ持ち寄り大会」9 月コラボ四街道 R5 成果報告会、申請書作成講座、10 月申請に向けた個別相談会、11 月プレゼンのコツ、1 月プレプレゼン）
- ・ 四街道市地域支え合い推進会議に参画し、地域包括支援センター等関係機関と協力します。
- ・ アートで地域づくり「みんなのアート 2024」は、子ども、障害者、高齢者などだれでも参加できるプログラム「まち図くり」ワークショップを開催します。（7/6, 7/25）
- ・ 子ども支援ネットワークでは子どもを取り巻く様々な課題に対して、行政や関係機関とも連携して話し合う場を開きます。今年度は子ども食堂、地域食堂の新規立ち上げ支援や情報共有、物品提供システムづくりに取組みます。
（地域食堂×市民×企業ミーティング 7/30, 円卓会議 12/11）
- ・ 「大きなテーブル」は福祉施設の紹介・販売のみでなく、他団体、他事業者、市民とのつながりをつくること、ものづくりにおける連携を目指し、実行委員会で取組みます。新たに「福祉施設販売基礎研修－理論と陳列事例研修」をします。大きなテーブルは 5/18（土）、またちばユニバーサル農業フェスタ 11/16（土）開催に協力します。
- ・ 「みんなで災害支援ネットワーク」のメンバー相互の交流をはかり、平時から声を掛け合える関係をつくり、災害時に市民団体、行政、社協（ボランティアセンター）と連携して被災者の支援ができる関係を目指します。（オープンチャット LINE グループ活用/38 名）講習会：6 月「避難所でのペットの受入れ方」10 月「避難所運営委員会の立上げ・運営」
- ・ 情報誌『みんなで』の発行は市政だよりに 2 回掲載する他 1 回のみオリジナル発行します。より多くの市民に地域づくりの情報を届けます。

- ・ ホームページはリニューアルし更新がしやすくなりました。ブログ、Facebook、ツイッター、インスタグラムなども活用し、地域づくり情報を効果的に発信します。
 - ・ 団体基本情報をホームページで公開し、市民の関心と理解を深め活動への参加につなげます。
- ② 多世代交流拠点「おおなみなみ」運営事業
- ・ 開設から 11 年目（自主事業 6 年目）となり、地元商店街の様子も変化し益々静かな町となってきました。生活クラブ子ども食堂基金助成を受けて「あおぞら市」を開催します。介護予防の健康体操、「まちの談話室」、シニア英会話、検見川の歴史講座等、場を活用して人々の交流を図ります。新しく講座を開きたいという問合せもあり、さらなる「場」の活用をすすめます。
 - ・ 県内の福祉施設事業所 5 団体の協力を得て、販売事業を継続します。
 - ・ 生活クラブ千葉グループ「安心システム街の縁側」に登録します。
- ③ 八街市協働のまちづくりコーディネーター育成事業について
- ・ 八街市が設置する「協働のまちづくり PiT」運営を担うコーディネーター 5 名をサポートします。週 1 回開催するコーディネーター会議で相談事例検討、資源の発掘、情報収集/提供、セミナー、交流会企画運営について協議、市各担当課や関係機関と連携をすすめます。
 - ・ 2 年目となり具体的な取組として「制服リユースしくみづくり」や子ども支援団体の資金調達、区・自治会サポート研修等を実施します。
- ④ ならしのプロボノチャレンジ事業について
- ・ 習志野市市民協働型委託事業として、若い世代、働く市民が地域づくりを行う市民団体への参加を促し、組織基盤強化をサポートするプログラムです。内容は団体説明会、社会人ボランティア募集説明会を行い募集後、チーム編成し、オリエンテーションを含めて伴走支援、活動報告会までを実施します。これまでのプロボノワーカーも事業サポーターとして関わります。
- ⑤ 千葉県地域ボランティア活動環境整備事業について
- ・ NPO 法人サービスグラントが受託実施する事業について、ボランティア受入れ団体の発掘、プログラム開発等を伴走支援に協力します。
- ⑥ SAVEJAPAN プロジェクト事業について
- ・ この事業は、「みんなで守ろう！日本の希少生物種と自然環境」をテーマに損保ジャパン、日本 NPO センター、全国の環境保全団体、中間支援団体が協働で実施します。2024 年度 9 月からの実施事業にエントリーを検討します。
- ⑦ 全国ボランティア推進団体会議「民ボラ」開催について
- ボランティアを推し進めるうえでのさまざまな課題を協議、ボランティア推進団体、中間支援団体などの役割、運営のあり方を考える場として連携、世話人団体として協力します。今年度は「民ボラ in 茨城」テーマは「市民自治とコモン」8/10, 11 開催予定。

5. 広報事業

- ・ ニュースレター「つぎの歩くん」各号テーマを決めて取材、編集、年 4 回（7 月、10 月、1 月、4 月）各 800 部を発行します。会員に配布する他、県内市町村市民活動サポートセンターや行政担当窓口、全国の中間支援組織などに送付します。
- ・ メールマガジンは会員など約 540 名宛に月 2 回配信します。掲載する情報は NPO クラブが主催するセミナーや会員、行政、関係機関からの助成金、イベント情報等を収集し提供します。講座参加者・団体など配信先を適時追加し、より広く情報提供します。
- ・ 団体ホームページ、「ちばし地域づくり大学校」ホームページ、ブログ「NPO クラブ こんなこと あんなこと」「縁 j o y 東北～エンジョイ東北」を適時更新します。
- ・ 団体、おおなみなみの Facebook ページや団体の Twitter では、主催するイベント、セミナー等の開催案内や活動状況を動画なども活用しながら効果的に情報発信します。
- ・ 千葉日報社の情報ポータルサイト「ちばとび！チャンネル」内の「CHIBAKARA～ちばからチャンネル」に記事提供、より広い層が市民活動に関心を持てるよう情報発信を行います。

6. 他組織、他団体の事務局運営事業

- ・ NPO法人地域創造ネットワークちばの事務局を担い、第14回ちばユニバーサル農業フェスタを11月16日（土）に四街道市文化センターで開催予定です。また、つながる経済フォーラム（社会的連帯経済）に世話人団体として参画、非営利分野、営利事業者ともに社会課題に向き合う場、学びあう場をつくりまします。第5回つながる経済フォーラムは、7月25日千葉市美術館ワークショップルームで開催します。

7. 行政、他組織との連携・協力事業

- ・ 公益財団法人ちばのWA地域づくり基金が実施する寄付募集プログラムや助成プログラムの広報等に協力します。
- ・ 生活クラブ千葉グループ協議会に参画し、情報交換や交流をとおして地域づくりに貢献します。つながる経済フォーラム世話人会、ちば社会的連帯経済研究所の活動に協力します。
- ・ 千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議に参画し、県・市町の市民活動センターや中間支援組織との連携を図り、支援力の強化をすすめます。
- ・ 千葉県社会福祉協議会の政策調整委員、千葉県地域ぐるみ福祉振興基金助成事業運営委員に就任します。
- ・ 県・市の市民参加、協働関連の委員等の就任要請に対応します。関連する施策や制度について中間支援組織の立場から発言し、協働による地域づくりに貢献します。
松戸市協働のまちづくり協議会、印西市まちづくりファンド選考委員会、大網白里市住民協働事業審査会、千葉市緑区補助金審査アドバイザー、習志野市協働推進委員会、市原市市民活動・協働推進委員、富里市協働推進委員、千葉県県民活動推進懇談会、千葉県支援組織ネットワーク協議会幹事
- ・ NPO法人千葉県障害者就労事業振興センター監事（勝又）
NPO法人ほっとハート監事、生活クラブ生協千葉監事（鍋嶋）
認定NPO法人コミュニティケア街ねっと理事（赤木）に就任します。

『2024年度活動予算案』

- ・ 経常収益合計：34,555,000円、事業費は29,590,800円、管理費は5,587,600円
経常費用合計：35,178,400円 経常損益：-623,400円
- ・ 役員報酬額について総会での決議事項となっています。
代表理事：2,200,000円
副代表理事、専務理事4,816,000円

収入として予算化した内容は以下になります。（営業外収益を除く）34,545,000円

- ・ 賛同会費400,000円、寄附金収入800,000円、運営会費収入435,000円
- ・ 四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業 8,454,820円
- ・ 福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業 8,103,000円
- ・ 避難者住宅確保・移転サポート業務委託 108,779円
- ・ ちばし地域づくり大学校 11,197,582円
- ・ 千葉県市民活動団体マネジメント事業 976,800円
- ・ 千葉県ボランティア活動環境整備事業 450,000円
- ・ 八街市協働のまちづくりコーディネーター育成事業 1,593,080円
- ・ SAVE JAPANプロジェクト事業 1,500,000円
- ・ ならしのプロボノチャレンジ事業 500,000円
- ・ おおなみこなみ運営事業 900,000円
- ・ 事務受託事業 120,000円
- ・ その他事業収入（講師派遣、委員謝金等） 1,000,000円